

いよいよ梅雨入り。本格的な雨が降り続く前にと、せっせと農作業をすすめたり、布団を干したりしています。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。O2ファームの様子をお伝えしますね。



まずは田んぼ。先月植えた苗がしっかりと根を張り、たくましく見えるようになってきました。先月はヨタヨタ歩いていた我が家の三男・讃太郎が、今は足取りもしっかり、時には重いものまで持ち上げてたくましく成長しているのと同じ。先月の自分と今月の自分を比べると、成長しているというより、むしろ退化しているのとは正反対です(^_^; イネの成長ぶりは良好なのですが、ひとつ大きな問題が。ここ数年、田んぼにコイが入っていることを知ったサギが、すっかり居ついてしまって、コイは食べられるわ、苗は倒されるわ...。サギ除けに釣り糸を張っていたの

ですが、さすがに網の目には張り切れません。につくきサギは、釣り糸の間を上手によけて着地し、そしてまた羽ばたいていくのです。ああ、腹立たしい!

コイが減ってしまった田んぼには、ぞくぞくと草が生えてきます。そうすると頼りはやっぱりヒト。環境調査をしていた友人が草取りを手伝ってくれました。これ幸いにと、田んぼの植物調査。草が多いと嘆くよりも、どうせなら勉強してしまえ、というわけです。もちろん、雑草が少ないに越したことはないのですが、雑草の種類が多いのは無農薬のお米を育てている田んぼならでは。除草剤を使った田んぼには、それこそ「草一本はえていない」のですから。田んぼ1枚の草取りで、確認できた雑草の種類は軽く10を超えました。セリ、オモダカ、ヘラオモダカ、ヒエ、コナギ、タデ、アオミドロ、スズメノテッポウ、チゴザサ、タカサブロウ、などなど。無農薬栽培の田んぼには、たくさんの生き物が集まってきます。もちろん、お米がとれないと話にはならないのですが(苦笑)。



そんな中、ついに極めつけの農法が生まれました。名付けて「きっぺい・れんぞう農法」です。とにかく躊躇せずに田んぼに入っていく彼ら。3歳ともなれば「苗は踏まないでね」と言っておけば、わざと踏むようなことはしません。できることなら、彼らを日がな田んぼに放り込んでおきたいくらい。それにしても、誰が洗濯すると思っているのだ!?



畑ではキュウリの作業がはじまりました。今では1年中キュウリが食べられますが、本当の旬は夏。我が家はビニールハウスではなくお天道様の力で育てるので、味の濃い、しまったキュウリが収穫できます。乞うご期待を！まずは自家製のあか牛堆肥をたっぷり施した畑を耕して、畝（うね）をつくります。そこにマルチをかぶせ、支柱を立て、ネットを張ります。そこまで準備ができたなら、マルチに穴をあけて苗を植えます。今年は約20aに1200本の苗を植えました。



農作業とは関係ありませんが、5月30日に三男が1歳の、それから6月11日にエリもウン歳の誕生日を迎えました。皆さんに支えられ、そして見守っていただいて、無事に成長していることに感謝！讃太郎は、これからどんどんいたずらが増えていきそうな予感はしますが、すっかりお兄ちゃんになった3歳の桔平と連蔵が遊び相手をしてくれるので、少し楽になってきました。親ばか写真をお許し下さい。



ところで先日、なんと韓国からの視察団が我が家にやってきました。農業に関心のある若者や、公務員を含む約20名。コイ農法をやってみたいという数名が、熱心に田んぼのコイを観察していました。築125年の我が家にご案内すると、皆さん珍しそうにきょろきょろ。民族博物館に入ったようなものですね。そして我が家にテレビがないことに気づいた彼ら。そんな日本人もいるのかとずいぶん驚かれました（笑）



そろそろ蛍の季節です。少雨なのが気になりますが、例年は我が家の庭にもたくさんの蛍が舞います。自宅で蛍を眺められることができるなんて、都会育ちの私には信じられません。機会がありましたら、ぜひお越しくださいね。7月19日には恒例のアイガモ田見学ツアー&BBQもあります。遠方のお客様にはなかなか来ていただきにくいのが残念ですが、来てしまえば空港から40分「なんだ意外と近いじゃないか」と思うはず！皆さま、お誘い合わせの上、ふるってご参加下さいね。

梅雨に入ると気持ちまでジメジメしがちですが、稲やキュウリを潤すのに大事大事、と思って乗り切ってくださいね。それから、まれに虫が発生することがあります。米びつにとうがらしなどを入れて保管には充分御注意下さい。夏はもうすぐそこです！！どうぞお元気で。